

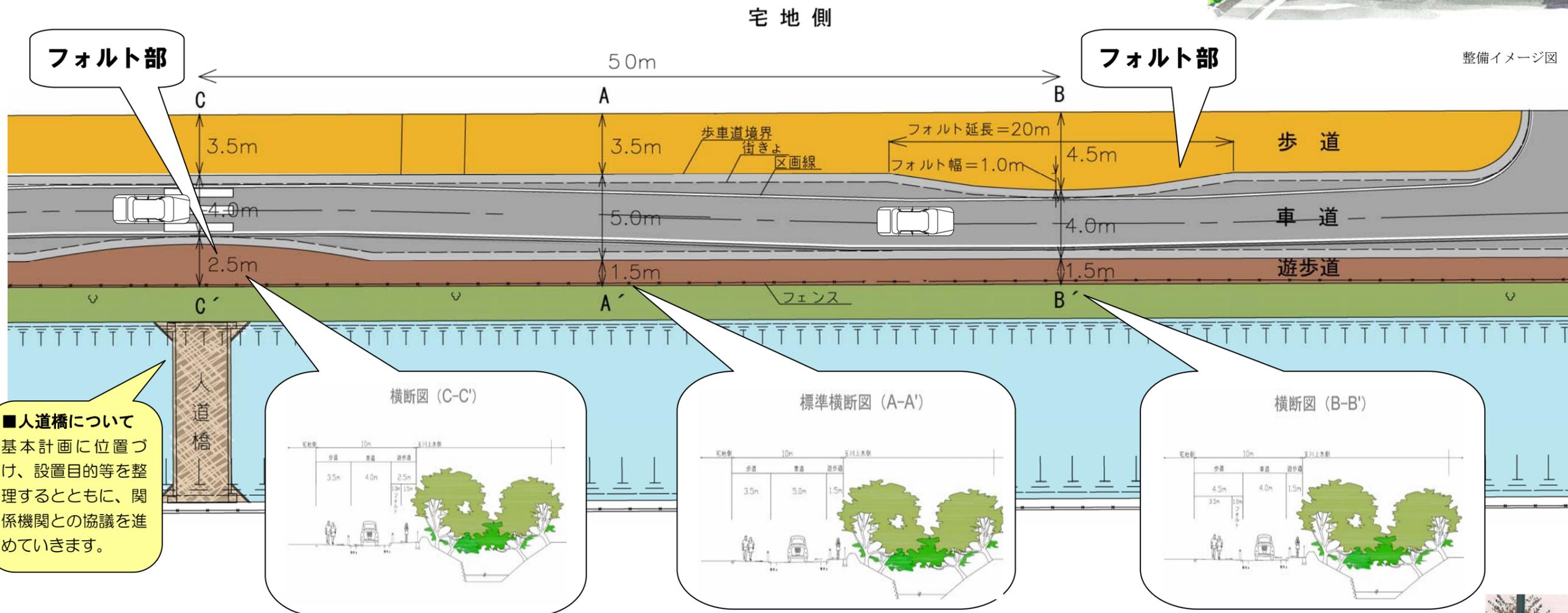
御殿山通りの整備イメージ

■道路構造の整備方針

- ★ フォルトによるスラローム形状の道路とし、速度抑制を図ります。
 - 車道幅員は5.0mを基本とし、フォルト部分では車道を1.0m狭めて速度抑制を図ります。
 - フォルト部分（幅1m長さ20mの円弧）には、ゆとり空間としての活用を検討します。
- ★ 宅地側の歩道は最低3.5mを確保し、最大4.5mのスペースを確保します。またバリアフリー化を実施します。
- ★ 玉川上水側の遊歩道は最低1.5mを確保し、最大2.5mのスペースを確保します。
- ★ 電線類の地中化を図り、景観や安全な歩行空間に配慮します。



整備イメージ図



■人道橋について
基本計画に位置づけ、設置目的等を整理するとともに、関係機関との協議を進めていきます。

■舗装素材のイメージ

(歩道及び遊歩道)

- ・住宅地側の歩道については、通勤・通学・買物・自転車利用などの多岐にわたる利用が想定されるため、舗装材は耐久性があり自然環境にも配慮した透水性の舗装とします。
- ・玉川上水側の遊歩道については、水面や植物などの自然を楽しみながら散策できる空間づくりを目指し、舗装材については玉川上水の堤と馴染み易い、自然色系素材を用いるものとします。

(車道)

- ・車道の舗装は、アスファルト舗装とします。

■ストリートファニチャー類のデザインイメージ

- ・玉川上水側のフェンスについては自然景観との調和を考え、高さ、素材、色合いなどを考慮します。
- ・車止め、ベンチ、その他の施設について、できるだけ自然素材（石・土・木など）を用いるものとします。
- ・街路灯は玉川上水の景観に配慮し、シンプルでスマートなデザインを目指します。また、色については茶色などのアースカラー系を用いるものとします。
- ・玉川上水沿いの遊歩道照明は、車止めを兼ねたフットライト等とします。
- ・安全まちづくりのため、消火栓等の防火施設の設置を検討します。

